



もつと詳しく知りたい方や疑問等がございましたら、遠慮なく小児科へご相談ください。

お問い合わせ下さい

小児科の診療日は
毎週火・木・土曜日です。

インフルエンザ菌b型γ=ヒブ(Hib)であるが
インフルエンザウイルスとは全くの別物である。

日本では年間約600人ほどが膿膜炎にかかっている。

当院ではヒブワクチンは生後3か月～1歳半に接種するのをおすすめしている。

約1ヶ月間隔で3回接種するのが標準的。

今のところ費用は自費で、予約が必要である。

講演会が行われました



†インターネット中継の様子。
8.8名が参加されました。

ドクターへりの 基礎知識とこれから

基礎知識とこれから

↑講演中の奥本克己先生。
140名が参加されました。

2月17日、講師に熊本赤十字病院 救命救急センターの奥本克己先生をお迎えし、救急講演会が

救急地域連携について

行われました。

行われました。

www.sohohelp.in/

ともに阿蘇地区では当院が選ばれ、初のインターネット中継を行いました。講師は現役でドクターへりに搭乗されており、救急の第一線で活躍されている日本医科大学附属千葉北総病院救命救急センターの松本尚先生をお迎えしました。

今回はドクターへりとは?というところから現在の運用状況、そして今後について詳しくお話を下さいました。医師や看護師にも常にハイレベルが求められ、チームワークが非常に重要であるということでした。

今後、熊本県でもドクターへり導入が期待されますが、まだまだ知らないことや誤解などもあるため、今回の講演を活かし県や地域ぐるみで取り組んでいかなければならぬと思いました。

現在、阿蘇から搬送される患者も多くあり、今後ますます地域連携や救急に対するしくみの整備、スタッフの意識付けが大切になることが分かりました。

今回の講演では、奥本先生をはじめ救命救急センターがモットーにしている「救急車を断るな！」を挙げられ、救急車を断らないためには何が必要か職員はどういった気構えでいるべきかなどをお話をいただきました。

「そとがき」とは外輸山を意味する古語です。

坂梨会ホームページアドレス <http://www.asospahp.jp/>

2月14日の新聞に茶寿苑ご入居中のM・N様の投稿記事が掲載されましたのでご紹介します。

そして二年目 あそんもん？

当地に越して来て間もなくTシャツの背中に阿蘇人と書いてあるのを見てかなりインパクトがあるなと思った。暫くして「あそんもん」と読む事を知り阿蘇の人の誇りを強く感じた。そして私はどのように溶け込んで行くのかなあといつつ二年がたつた。

当初は矢張り熊本市内に出向く事が多かつたが、ここ半年ばかり急に阿蘇市を身近に感じる機会に恵まれお友達が沢山出来た。私の場合公民館・市広報がその場になつた。阿蘇を世界文化遺産登録推進中など聞くと何かお手伝い出来ないかと思うし、新聞なんかの読み方も違つて来る。

女同士と言う言葉の通り女性は話題が豊富できつかけ作りが上手なので、同じ目的で出会った場合親しくなるのに大し

て時間はかかるない。だから私の事も姓ではなく名で呼んでいいかと言わるとくすぐつたい気もするが喜んでどうぞと言おう。

ともあれ三年目の春は目の前である。うれしい事も悲しい事もしつかり受け止め、阿蘇大好きの人間としては初心にかえりゆっくりと、いつの日か阿蘇人になれたらいいなと思っている。



感染性胃腸炎が流行しています。
手洗い・うがいをこまめにしましよう。

我先に 春を告げんと 自然界



会員募集のお知らせ

「阿蘇地域難病患者と家族の会」

ふれ愛 97

をご存知ですか？

この会は「1997年」に県内で初めて設立されました。最初はパークリンソンの会として発足し、2~3年後に阿蘇地

域の難病患者とその家族で結集した会で、「ふれ愛97」とは1997年の略です。

難病と戦う本人はもとより、介護をされる家族が不安を抱えて家に閉じこもりことなく、明るく前向きに希望を持つ生きようと、同じ悩みを持つ者同士が集まり話し合える場となっています。一人で悩まず「影に日向を」をモットーに活動しています。

年会費は1500円で、毎年9月には県内の患者団体との疾患ごとの交流などもあります。興味のある方、ご入会希望の方はお気軽に左記までお問合せください。

お問い合わせ
お申し込み先

代表 高橋 賢造
電話 0967-(42)1087

または

阿蘇保健所 (担当)須藤
電話 0967-(32)0535

ご案内

参加者募集

平成22年度 緩和ケアボランティア講習会参加者募集

とき	平成22年4月22日(木) 14~16時
ところ	阿蘇温泉病院 桃花水3階 カンファレンスルーム
内容	・緩和ケア病棟とは ・ボランティアの役割・活動・心得 ・感染対策 ・他職種の役割 ・病棟見学
対象	緩和ケア病棟ボランティアとして協力できる方(18歳以上・一般の方)
問合せ	阿蘇温泉病院 緩和ケア病棟 担当 佐藤・井 電話番号0967-32-5250

緩和ケア病棟では、緩和ケアを必要とする患者さんとそのご家族が可能な限り快適な生活が過ごせるよう、一緒に支援していくだけボランティアさんを募集しています。そこで緩和ケア病棟の機能や、詳しい活動内容、およびボランティアとしての心得などをご理解頂き、日程を調節した後で実際の活動となります。講習日程は左記です。ご参加をお待ちしています。

先日つくしを見つけました。寒いながらも春はきているんだと実感し、温かい気持ちになりました。

(広報課)